

興徳寺便り

第143号
(復刊第68号)
令和6春彼岸

人が人として生きること

行為の意味

……あなたの「へこころ」はどんな形ですか
 と ひとに聞かれても答えようがない
 自分にも他人にも「へこころ」は見えない
 けれど ほんとうに見えないのであろうか
 確かに「へこころ」はだれにも見えない
 けれど「へこころづかい」は見えるのだ
 それは 人に対する積極的な行為だから
 同じように胸の中の「思い」は見えない
 けれど「思いやり」はだれにも見える
 それも人に対する積極的な行為だから
 あたたかい心が あたたかい行為になり
 やさしい思いが やさしい行為になるとき
 「心」も「思い」も 初めて美しく生きる
 ……それは 人が人として生きることだ

宮澤章二「行為の意味―青春前期のきみたちに」より

宮澤 章二(みやざわ しょうじ) 大正8年、埼玉県羽生市で出生、
 東京大学文学部美学科卒業 埼玉県立不動岡高等学校の教諭時代に、
 作曲家の下総皖一と出会ったことから、詩人・作詞家として
 活動を開始。校歌や合唱曲、童謡などの作詞を多数手がけた。
 『ジングルベル』の訳詞者として知られる。平成17年逝去 (85歳)。

今年の一月一日、能登半島を襲った地震は死者241名、住宅被害7万5千棟、という大きな被害をもたらし、そして今なお1万2千人余の方が避難生活を余儀なくされています。私達に出来る支援を考えるためにもと、この詩を取り上げてみました。

日蓮聖人重須殿女房殿ご返事の一節、「わざわいは口より出でて身をやぶる。さいわいは心よりいでて我をかざる。」

——思いやりの心を伴わない口先だけで話をする人は、他の人に嫌われて 相手にされなくなり 不幸になる。逆に思いやりのある心をもって人と接する人は、他の人に愛され 幸せになることが出来る——

「情けは人の為ならず」ということわざがあります。他人に情けをかけてもただその人を甘やかすだけでためにはならない、と理解している方がおられますが、人に親切にする行為は他人の為ではなく実は自分の為なんですよ、という意味です。

この世でもっとも大切な人は自分自身です。その自分の心を成長させるために必要な行為が他人に対する心づかい思いやり、仏教ではこれを『布施行』といひ見返りを求めずに与えることが仏になるための方法であると説きます。

「『心』は誰にも見えないけれど、『心づかい』は見える。
 『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。
 その気持ちをカタチに。」

東日本大震災が起きた後、民放各局が企業のcm放送を自粛する中、このテロップがひんぱんに流されました。

思いをカタチに！



春から夏までの予定

3月20日(水曜日) ^{ひがんえ}彼岸会 10:00～ 法要と法話
 お彼岸の法要です。ご家族・お友達 お誘いあわせてどうぞ。
 法要の中でご先祖様の回向をさせていただきます。(お塔婆は2千円です)。

4月7日(日曜日) 花祭り 12:30～ 法要。13:30～ ショー
 第17回目の「花まつり」です。お釈迦様の誕生を祝い、仏さまのご縁に感謝する日。
 甘茶・お抹茶の接待、駐車場には売店、お花見も楽しめます。
 法要後は書家・木村華暢さんの石段50mを使っの「書のパフォーマンス」
 本堂前の特設舞台での「邦楽演奏」・「劇団うふふ」・「はる」…

『劇団 うふふ』の大型人形芝居、「ぶんぶく茶釜」
 脚本、演出、人形制作・音楽まですべてオリジナル。



おなじみの「ぶんぶく茶釜」をバージョンアップしてお披露目します。

人と人形が織りなすおかしくて不思議な世界。ご期待ください。

それから、福岡から今年も『はる』がやって来ます。オオガタ・ミツオさんが亡くなられ、奥様のはるさんが昨年初めてのソロコンサート。今年もどうぞどうぞ応援してあげてください。



興徳寺をきれいにする日 6月16日 と 7月21日 の 2回
 朝7:00～9:00頃まで 草刈・草むしり・お掃除など、できるご奉仕を。男女年齢問わず。

^{しゃきょう しょうだいぎょう}
写経・唱題行

毎月 第4日曜日 15時より「写経」 16時より「唱題行」

3月24日 ・ 4月28日 ・ 5月26日 ・ 6月23日 ・ 7月28日

静かな雰囲気の中でお経を写し、お題目を唱えます。深い呼吸と精神統一によって、気持ちもスッキリ。お友達・お仲間を誘って是非、参加してみてください。



副住職にお嫁さん！

副住職の結婚が決まりました。お相手は持田沙織さん(35歳)ご実家は群馬県前橋市です。結婚式は3月31日(日) 11時より興徳寺の御宝前にて常境寺の金森了脩上人を式長に執り行います。式には檀家さんを代表し総代さん4名に出席していただく事としました。式後に庭に出ますのでよかったです一緒に記念写真などどうぞ。



寒行20年目

1月20日「大寒」から2月3日「節分」まで『寒行』が行われました。平成17年に4人のお坊さんたちでスタートして



今年で20年目となりました。一般の方の参加も呼びかけ毎晩10〜20名ほどの方が一緒に夜の道を元気に歩いてくれました。今回は4年ぶりに「豆まき」も復活させ当番寺院の興徳寺にて100名余りの参加者に僧侶と年男・年女が豆やお菓子を撒き大いに賑わいました。なお戸口にて頂きました浄財は今年も柚野小学校に10万円、上野小学校に5万円、読み聞かせの会に3万円を寄付しました。



節分の法要〜豆まき



← 「皆勤賞」
今年5名立派!



先代住職たちが始め、息子達の代に引き継がれて20年、今では村の冬の風物詩。ずっと遺したい行事です。



2月21日、柚野小学校で贈呈式。



【写真提供 高瀬幹雄】

春のお経廻りの予定

- 3月1日 稲子・長貴・羽鮎・大久保
- 2日 (土) 万野原新田・大岩・小泉
- 3日 (日) 富士
- 4日 精進川・下条
- 5～7日 下条・青木・馬見塚・外神・穂波町・淀師・淀川町
- 8日 北山・上井出・山宮・栗倉・舟久保町・村山・宮原・富士見ヶ丘
- 9日 (土) 由比・清水・静岡～柚野・希望者
- 10日 (日) 三島・内房・大久保・柚野・希望者
- 11日 大宮町・宮町・西町・貴船町・泉町・豊町・若の宮町
- 12日 大中里・野中・星山・源道寺・田中町～柚野 13日～柚野

*当方の都合で日付変更もあります。
*変更を希望する方、ご連絡ください。

住職のひとりごと

●本文中にも記しましたが、まずは副住職・泰潤の結婚が決まったこと。とても嬉しいです。泰潤より10歳も年下で「ホントにウチの子でいいんですか？」と聞いてみたかったです。実際に会いしてみたらスナオでやさしくて何よりも泰潤と実によく雰囲気だったので質問もひっこめました。お寺とは全く縁のない環境に育ちましたが、ご両親にも興徳寺を見て頂いて安心し

ていただきました。私のことを「おとうさん」と呼んでくれる女の子が初めてできました(長男の嫁はスコットランド人で「タイゼン」と呼びます)まだ少しこそばゆいですが。私も今後若い二人を指導していきながら、もう任せでもダイジョウブ、と檀家さんが認めてくれる日まで責務を果たしてゆきたいと考えています。どうぞ温かく見守ってやってください。
《お知らせ》護持会費の封筒を同封してあります。墓地契約者

は一口(2千円/年)、その他の方は二〜三口以上でお願い致します。可能な方は現在の口数を増やしてください。また護持会費の用途および残金等につきましては同封の『護持会報告』をごらんください。



タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591

1円硬貨も4千8百54枚あったのですが、事前に分けておいて手数料のからない能登半島地震災害義援金に送りました。結果としていつもの「日蓮宗社会教化事業協会」に16万6千2百30円、「能登義援金」に4千8百54円、1円以外の硬貨が1549枚で手数料が2千2百円、でした。硬貨は金額に関係なく送金手数料が発生しますが「日本赤字社」等に送る場合は徴収しないそうです。来年以降の参考にしようと思います。ご協力ありがとうございます。

●「一食一円アシスト募金」ですが一円硬貨を受け付けなくなってきた協力者も減り計38名でした。それでも毎回多額の寄付をして下さるある檀家さんが今回も何と7万8千円をあ貯金箱に入れて下さって合計は17万1千84円になりました。

この季節、上の駐車場は閉鎖し見学者に開放しますが、檀家さん、お寺に御用の方はご遠慮なくご利用ください。●今回のイラストは持田沙織さんです。

【泰然記】